

# 画工作科の授業 モデルプラン

〈鑑賞 02〉

表現と鑑賞の往還的な学習 [2年生]

授業者 真亀小学校 小林 詩歩

題 材 名: ともだちハウス

鑑賞の対象: 児童が自ら見付けてきたお気に入りの葉や小石(「ともだち」)  
 本時のねらい: お互いの家にお出かけする活動を通して、感じ取ったり考えたりしたことを友達と話し合いながら、自分の見方や考え方を広げることができる。



出会い (題材の導入)	展開 (2時間目以降)			まとめ
<p>○ 身の回りの自然物から気に入った「ともだち」を見付ける。</p> <p>個人で      友達と</p> <p><b>POINT</b></p> <p>形や色、手触り等について、児童が自然と語れる問いかけ</p> <p>「先生、見て!宝物見付けたよ!」                  「いいね!どこが気に入ったの?」                  「えっとね、ここが、色が白くなって、触った感じがつるつるしているところ。」</p>	<p>〈つくる〉 「ともだち」が喜ぶ家をつくる</p> <p>もくもくと集中してつくる</p>	<p>〈遊ぶ〉 「ともだち」になりきって、友達の家で遊び、鑑賞する。</p>	<p>〈振り返る〉 ふりかえりの視点を共有し、ともだち日記をかくことで振り返る。</p> <p>ふりかえりの視点                  〈わくわくポイント〉                  ・友達の作品のいいな・面白いなど思ったところ。                  ・次の時間に活かしたいと思ったこと                  ・自分の作品を振り返って思ったこと、考えたこと</p>	<p>○ みんながつくったおうちに「ともだち」としてお出かけして、友達が考えたところや工夫を見付ける活動を通して、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p><b>プラスα</b></p> <p>○ みんなで街づくり (生活科との連携)</p>
	<p>〈見直す〉 自分の作品を見つめ直す。</p> <p>友達と話しながらつくる</p>	<p>〈世界観の共有〉 ミラーリング機能を活用し、のぞき込む視点を共有。</p>		